

結論

- ① 拙論「変法運動と康有為」『アルテス リベラレス』61, 1997

拙論「変法運動と梁啓超」『岩手史学研究』81, 1998

拙論「変法運動と譚嗣同」『アルテス リベラレス』63, 1998

本論文第1章2節参照

拙論「変法運動と明治維新」『月刊歴史教育』第2巻10号 1980他

I 和漢書文献目録

1) 史料

1、王夫子『繫辭上伝』宝研堂

2、張自牧『測卮言』易堂排印本

3、湯震『卮言』上海刊 1886年

4、陳虬『治平通議』欧雅堂 1895年

5、鄭觀應『盛世危言』 1895年

6、李圭『鴉片事略』上、下 海寧署刊行 1885年

学生書局 1973年

7、陳熾『庸書』上海慎記書莊 1897年

8、汪康年、梁啓超主編『時務報』 1896年（国会図書館蔵）

華文書局 1967年

9、康広仁編『知新報』 1897年（東洋文庫蔵）

中華書局 1991年

10、汪康年編『農學報』 1897年（東洋文庫蔵）

11、康広仁『訳書公会報』 1897年（東洋文庫蔵）

中華書局 1991年

12、汪康年編『蒙學報』 1897年（東洋文庫蔵）

中華書局 1991年

13、嚴復編『国聞報』 1897年（東洋文庫蔵）

14、『格致新報』格致新報館 1897年

15、汪康年編『昌言報』 1898年（東洋文庫蔵）

中華書局 1991年

16、愛穎編『国聞報彙編』上、下 西江欧化社 1903年

17、繆荃孫『統碑伝集』江楚編訳書局

18、田原植次郎『民初官紳人名録』中国研究会 1918年

19、沃丘仲子『当代名人小伝』崇文書局 1919年

20、閔爾昌『碑伝集補』燕京大学国学研究所 1923年

- 21、『清史列伝』 中華書局 1928年
- 22、馮自由『革命逸史』 商務印書館 1939年
- 23、唐祖培『民国名人小伝』 自連出版社 1953年
- 24、譚嗣同『譚嗣同全集』 新華書店 1954年 增訂版
- 25 中国史学会主編『戊戌变法』（一～四） 上海人民出版社 1957年
- 26 梁啓超『飲冰室文集』 台湾中華書局 1960年
- 27、許新城『近代中国教育史料』（上、中、下） 人民教育出版社 1961年
- 28、張之洞『張文襄公全集』 文海出版社 1963年
- 29、張靜虛輯註『中国近代出版史料』 香港太平書局 1964年
- 30、梁啓超『戊戌政變記』 文海出版社 1964年
- 31、譚嗣同、唐才常、熊希齡等主編『湘學新報』 華文書局 1966年
- 32、汪康年、梁啓超等主編『時務報』 華文書局 1967年
- 33、林樂知『万国公報』 台湾華文書局再版 1968年
- 34、中国国民党中央委员会党史委員會編『革命人物誌』 中央文物供應社 1969—1979年
- 35、梁啓超『清代學術概論』 台湾商務印書館 1969年
- 36、蘇輿『翼教叢編』 台湾國風出版社 1970年
- 37、康有為『康有為自訂年譜』 文海出版社 1971年
- 38、大陸雜誌社編『中国近代學人象伝』 初輯大陸雜誌社 1971年
- 39、黃彰健編『史料叢書 康有為戊戌奏議附康有為戊戌奏稿』 中央研究院歷史語言研究所 1974年
- 40、梁啓超著小野和子訳『清代學術概論—中国のルネッサンス—』 平凡社 1974年
- 41、李又寧、張玉法主編『近代中国女權運動史料』（上、下） 伝記文学社 1975年
- 42、多賀秋五郎編『近代中国教育資料（清末編）』 文海出版社 1976年
- 43、趙爾巽等撰『清史稿』 中華書局 1977年
- 44、沃丘仲子『近代名人小伝』 広文書局 1980年
- 45、『強學報、時務報』 中華書局 1991年
- 46、『實學報』 中華書局 1991年
- 47、『集成報』 中華書局 1991年
- 48、『中外紀聞』 中華書局 1991年
- 49、『經世報』 中華書局 1991年
- 50、『求是報』 中華書局 1991年
- 51、『萃報』 中華書局 1991年

2) 研究論著

- 1、陳東原『中国教育史』 商務印書館 初版 1926年
台湾商務印書館 第4版 1980年
- 2、小島祐馬『中国の革命思想』 弘文堂 1950年
- 3、梁孟源『中国近百年革命史略』 生活、読書、新知三聯書店 1954年

- 4、湯志鈞『戊戌变法史論』 上海群聯出版社 1955年
- 5、多賀秋五郎『中国教育史』 岩崎書店 1955年
- 6、戈公振『中国報学史』 香港、太平書局 1956年
- 7、胡浜『戊戌变法』 新知識出版社 1956年
- 8、王枋『嚴復伝』 人物出版社 1957年
- 9、湯志鈞『戊戌变法史論叢』 湖北人民出版社 1957年
- 10、小野川秀美『清末政治思想史研究』 東洋史研究会 1960年 みすず書房 1969年
- 11、湯志鈞『戊戌变法人物伝稿』上、下 中華書局 1961年 増訂本 1981年
- 12、波多野善大『中国近代工業史の研究』 東洋史研究会 1961年
- 13、范文瀾『中国近代史』上 人民出版社 1962年
- 14、野村浩一『中国近代の政治と思想』 筑摩書房 1964年
- 15、王樹槐『外人与变法』 台湾商務印書館 1965年
- 16、島田虔次編『中国革命の先駆者たち』 筑摩書房 1965年
- 17、多賀秋五郎編『アジア近世教育史』 文理書院 1966年
- 18、王爾敏『晚清政治思想史論』 学生書局 1967年
- 19、坂野正高、衛藤審吉編『中国をめぐる国際政治』 東京大学出版会 1968年
- 20、陳啓天『近代中国教史』 台湾中華書局 1969年
- 21、莊吉堯『京師大学堂』 国立台湾大学文学院 1970年
- 22、高田淳『中国の近代化と儒教』 紀伊国屋書店 1970年
- 23、黄彰健『戊戌变法史研究』 中央研究院歷史語研究所 1970年
- 24、張玉法『清季の立憲団体』 中央研究院中国近代研究所 1971年
- 25、西順藏、島田虔次編『中国古典文学大系58 清末民国初政治評論集』 平凡社 1971年
- 26、市古宙三『近代中国の政治と社会』 東京大学出版会 1971年 増訂版 1977年
- 27、内藤湖南『内藤湖南全集』第二卷 筑摩書房 1971年
- 28、林能士『清季湖南の新政運動(1895-98)』 国立台湾大学文学院 1972年
- 29、齊藤秋男『中国現代教育史—中国革命の教育構造』 田畑書店 1973年
- 30、坂野正高『近代中国政治外交史—ヴァスコダガマから五四運動まで』 東京大学出版会 1973年
- 31、世界教育研究会編『中国教育史 世界教育大系4』 講談社 1975年
- 32、梁元生『林樂知在華事業与《万国公報》』 中文大学出版社 1978年
- 33、小野和子『中国女性史』 平凡社 1978年
- 34、B. I シュウォルト著平野健一郎訳『中国の近代化と知識人—嚴復と西洋』 東京大学出版会 1978年
- 35、賴光臨『中国近代報人与報業』上、下 台湾印務印書館 1979年
- 36、中村義『辛亥革命史研究』 未来社 1979年
- 37、楊天石『黃遵憲』 上海人民出版社 1979年
- 38、方漢奇『中国近代報刊史』 山西人民出版社 1981年
- 39、蕭超然『北京大学校史—1898—1949』 上海教育出版社 1981年
- 40、近藤邦康『中国近代思想史研究』 勁草書房 1981年

- 41、汪榮祖『晚清變法思想論叢』 聯經出版事業公司 1983年
- 42、湯志鈞『康有為與戊戌變法』 中華書局 1984年
- 43、湯志鈞『戊戌變法史』 人民出版社 1984年
- 44、有田和夫『清末意識構造の研究』 汲古書院 1984年
- 45、閔斗基『中國近代改革運動の研究——康有為中心の1898年改革運動』 一潮閣 1985年
- 46、張召奎『中國出版史概要』 山西人民出版社 1985年
- 47、李文海、孔祥吉編『戊戌變法』 巴蜀書社 1986年
- 48、存萃學社編『嚴復思想旨探』 大東圖書印行 1986年
- 49、王鳳超『中國的報館』 人民出版社 1988年
- 50、吳廷嘉『戊戌思潮縱橫論』 中國人民大學出版社 1988年
- 51、孔祥吉『康有為變法奏議研究』 遼寧教育出版社 1988年
- 52、孔祥吉『戊戌維新運動新探』 湖南人民出版社 1988年
- 53、國內歷史學會議日本國內委員會編『歷史研究の新しい波』 山川出版社 1989年
- 54、溝口雄三『方法としての中國』 東京大學出版會 1989年
- 55、阿部洋『中國的近代教育と明治日本』 福村出版 1990年
- 56、大谷敏夫『清代政治思想研究』 汲古書院 1991年
- 57、桑兵『晚清學堂學生與社會變遷』 稻禾出版 1991年
- 58、鈴木智夫『洋務運動の研究』 汲古書院 1992年
- 59、辛亥革命研究會編『中國近代史研究入門』 汲古書院 1992年
- 60、阿部洋『中國近代學校史研究—清末における近代學校制度の成立過程』 福村出版社 1993年
- 61、秦紹德『上海近代史報刊史論』 復旦大學出版社 1993年
- 62、湯志鈞『戊戌時期的學會和報刊』 台灣商務印書館 1993年
- 63、熊月之『西學東漸與晚清社會』 上海人民出版社 1994年
- 64、目黑克彦『中國近代における輸入アヘンに対する税厘併徵問題の基礎的研究』

(平成7年度科學研究費補助金(一般研究C)研究成果報告書平成8年3月)

II, English Bibliography

1) Contemporary Writing

- 1, W.A.P.Martin, A Cycle of Cathy or China, South and North, With Personal Reminiscences, New York, Chicago, Tronte: F. H. Co., 1896. 3edEd. 1900,
Reprinted by Cheng-Wen Publishing Co.
- 2, Archibard Little, Intimate China, London, 1899.
- 3, W. A. P. Martin, The Awakening of China, New York, 1906.
- 4, Timothy Richard, Forty Five Years in China, New York, 1916.

2) Secondary Studies

- 1, K. S. Latourette, A History of Christian Mission in China, London, 1929. (Taipei, 1970)

- 2, W. E. Soothill, China and West, A Sketch of their Intercourse, Oxford, 1925, London, 1974.
- 3, Benjamin I. Schwartz, In Search of Wealth and Power: Yen Fu and West, Cambridge, Harvard University Press. 1964.
- 4, Paul Richard Bohr, Famine in China and the Missionary: Timothy Riehard as Relief Administrator and Advocate of National Reform, 1876-1884, Cambridge, Harvard University. 1972.

あとがき

本書の発行は、『戊戌変法運動史の研究』の姉妹編として2000年に準備したものである。

内容は、戊戌変法期の学会・報刊・学堂を機能的に分類し、その経済的背景、年代的地理的拡大を明らかにし、変法運動に対する学会・報刊・学堂の働きを追求したものである。

執筆に当たっては、東京教育大学、京都大学を中心とする多くの日本の方々、中国、韓国、英国等の方々のご指導とご助言とを受けたものであり、いちいちのお名前は、省略させていただくが、この場を借りて衷心から御礼申し上げる。

つぎに、本書のもととなった著書、論文などを明らかにしておく。

序論 書き下ろし

第一章第一節 概観 書き下ろし

第一章第二節 変法期の学会「変法運動と学会」上、下『四国学院大学論集』（以下『論集』と略称）

第13,14号 1968年3,4月

第一章第三節 変法期の報刊「変法運動と報刊」『集刊東洋学』第45号 1981年5月

第一章第四節 変法期の学堂「変法運動と学堂」（『歴史における民衆と文化 酒井忠夫先生古希祝賀記念論集』国書刊行会 1984年2月所収）

第一章第五節 まとめ 書き下ろし

第二章第一節 概観 書き下ろし

第二章第二節第一項 務農会「変法運動と務農会」『論集』第38号 1977年7月

第二章第二節第二項 『農学报』「変法運動と『農学报』」（『総合研究（A）中国史における中央政治と地方社会』1986年3月所収）

第二章第二節第三項 『格知新報』「変法運動と『格知新報』」『アルテス リベラレス』第46号1990年4月

第二章第二節第四項 時務学堂「変法運動と時務学堂」『論集』第42号 1978年12月

第二章第二節第五項 京師大学堂「変法運動と京師大学堂」『東洋史研究』第37巻第2号 1978年9月

第二章第三節第一項 中国女学堂「変法運動と中国女学堂」『アルテス リベラレス』第32号1983年7月

第二章第四節第一項 蒙学会「変法運動と蒙学会」『論集』第37号 1977年3月

第二章第四節第二項 『蒙学报』「変法運動と『蒙学报』」（『思想と文化』岩手大学人文社会科学部欧米研究 1986年2月所収）

第二章第五節 浙江杭州蚕学館「変法運動と浙江杭州蚕学館」『アルテス リベラレス』第39号 1986年11月

第二章第六節 聖学会「変法運動と蒙学会」『論集』第39号 1977年12月

第二章第七節 まとめ 書き下ろし

第三章第一節 概観 書き下ろし

第三章第二節 戒烟片煙会「変法運動と戒烟片煙会」『論集』第36号 1976年11月

第三章第三節 不纏足会「変法運動と不纏足会」『論集』第35号 1976年7月

第三章第四節 まとめ 書き下ろし

- 第四章第一節 概観 書き下ろし
- 第四章第二節第一項 北京強学会「変法運動と北京強学会」『論集』第15号 1969年3月
- 第四章第二節第二項 上海強学会「変法運動と上海強学会」（『創立25周年記念論文集』四国学院大学文化学会 1975年12月所収）
- 第四章第二節第三項 『強学報』「変法運動と『強学報』」『岩手史学研究』第78 1994年2月
- 第四章第二節第四項 南学会「変法運動と南学会」（『木村正雄先生退官記念論文集』開文堂 1976年12月所収）
- 第四章第二節第五項 『時務報』「変法運動と『時務報』」『論集』第40号 1978年3月
- 第四章第二節第六項 『湘報』「変法運動と『湘報』」（『中嶋敏先生古稀記念論文集』下 汲古書院 1981年7月所収）
- 第四章第二節第七項 『国聞報』「変法運動と『国聞報』」『アルテス リベラレス』第42号 1988年6月
- 第四章第二節第八項 湖南課吏館「変法運動と湖南課吏館」（岩手大学教育学部社会科編『岩手大学文化論集』第一輯 岩手大学教育学部社会科 1984年3月所収）
- 第四章第三節第一項 保国会「変法運動と保国会」『論集』第18号 1970年3月
- 第四章第四節 まとめ 書き下ろし
- 第五章第一節 概観 書き下ろし
- 第五章第二節 経済論と経済活動の展開 「戊戌変法の社会経済的背景—特に湖南省を中心として」（岩手大学人文社会科学部アジア研究(日本学)編『歴史と文化』岩手大学人文社会科学部アジア研究(日本学) 1981年2月所収）
- 第五章第三節 おわりに 書き下ろし
- 第六章第一節 概観 書き下ろし
- 第六章第二節 年代的地理的拡大 書き下ろし
- 第六章第三節 変法運動への接続 「洋務運動から変法運動へ」（深澤秀男著『戊戌変法運動史研究』上 四国学院大学文学部東洋史研究室 1978年所収）
- 第六章第四節 まとめ 書き下ろし

なお、本書の各節、項の多くは、研究発表の上に書かれたものであり、その一部については、1995年度の東北史学会、岩手史学会の合同大会で、「清末変法期の学会・報館・学堂について」の題目で講演している。

また、本書の英文タイトルは、岩手大学のAnthony Kennedy先生にお導き頂いた。

本書は、若い研究者の方々の参考になればと思い、一書にまとめたものである。

印刷に当たっては、今回も多賀印刷にお世話になったので、御礼申し上げる。

また、このような形で一書にまとめることをご助言くださった畏友吉川勇三兄にも感謝申し上げる。

最後に、今まで私の研究生活を支えて、応援してくれた、両親、兄弟、妻、子どもたち、親戚にも感謝したい。

2007年7月2日

求是齋にて

深澤 秀男